

## 令和4年第11回 吉田町教育委員会

---

- 1 開催期日 令和4年10月20日(木)  
開会 午後 1時30分  
閉会 午後 4時47分
- 2 場 所 吉田町役場 5階 会議室2
- 3 出席委員 塚本 成男 北澤 雅恵  
増田 真也 中村 成宏
- 4 議場に出席した者の職氏名 教 育 長 山田 泰巳  
学校教育課長 糸田 真男 生涯学習課長 中山 孝宏  
主席指導主事 水嶋 浩之 指 導 主 事 平井 奉子  
学校教育課統括 山村 加奈子 学校教育課統括 榛葉 知美
- 5 傍聴人数 0人

### 次 第 (会議録概要)

---

- 1 開 会
- 2 教育長の報告 資料No.1
- (1) 報告事項 10月の教育委員会の状況について
- (2) 町内教職員の状況 退職教員及び復帰職員について
- (3) その他 教育委員の再任について
- 3 会議録署名委員の指名 北澤委員
- 4 議 事
- (1) 報告事項
- ア 生徒指導について 【非公開】 資料No.2
- イ 令和4年度就学援助費の認定について 【非公開】 資料No.2

## (2) 協議事項

ア 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果（公表）について 資料No.3

（委員からの質疑・意見）

- ・この公表を受けて、各学校長はどういう認識をしているか。⇒ 学習面に関しては、各学校でそれぞれの課題があるが、学習状況調査に関しては、読書が課題というところは小中共通の問題として受け止めており、ICTを活用している良い部分を踏まえて、どんな手立て、取組ができるか各学校で考えている。
- ・学校ごとの分析は。⇒ 住吉小学校は知識の定着や家庭学習に課題。中央小学校は算数、家庭学習に課題あり。自己肯定感が高いという結果を生かしつつ、ICTを効果的に活用。反転学習の積極的な実施。自彊小学校は、現状のままの授業実践。家庭学習に課題。読書については、ICTの活用と実際に本に触れるという両輪で工夫をしたい。
- ・公表資料の形式をこの形にした理由は。⇒ 静大の村山教授が監修した「分析の手引」に沿った形で作成した。
- ・以前の詳細な分析から簡素になった理由は。⇒ 村山教授の御指導で、問題ごとの分析をしても、たまたま学力調査の中でその問題が出ただけという話になるので、今どういう位置にあるのかということ、数値的に結果をまとめる資料に昨年から変わっている。その代わりに、学校ごとに状況が違うので、各学校の中で、どういうところに力を入れるべきかの分析を行っている。
- ・タブレットを使っているのはいいけれど、中身はどうなのか。使っているという評価ではなくて、それで学力が付いているという評価ができるのか。
- ・保護者としてこの結果を見た場合、それでは今後どうしていくのかというのは、保護者として知りたい。
- ・肯定的な回答が低い事項は、あまりなかったと考えてもいいのか。⇒ 10%以上全国と比較して差があったのは、公表資料に掲載した2つである。
- ・家庭学習の時間が少ないことと、読書量が少ないということが、学力に直結するといった分析はされているか。⇒ はっきりとした分析結果はない。
- ・読書時間が少ないと県より10ポイント以上も低い結果が出ているのは、裏返せば、読書時間が多いい子は、クロス集計すれば学力が高いと思われる。一般的に考えたら、読書をする子は学力が高いと思う。⇒ 読書している子供の方が、学力が高いと思うが、読まないからできないとは言えないとも思う。
- ・公表資料には、教育委員会として、学校が指導方法を改善したり、家庭に協力を求めていくことを支援する内容を書いた方がいい。⇒ 現在、ICTを積極的に活用している状況で、ICTを効果的に、深い学びにつながるための武器として使っていく。そういった一文を公表資料に入れていく。
- ・大切なのは、学校が授業改善をして、家庭と一緒に協力して、吉田の子供たちを

健全に育成していくことを、教育委員会も全面的に支援していくという内容が入っていればいいと思う。具体的中身に関しては、ICTでもっと深化した新しい授業、深化させて授業改善を研究していくというアクションを続けることで、結果として出てくる。

#### イ TCPトリビンスプランについて 資料No.4

(委員からの質疑・意見)

- ・ すごく高い評価である。給食が増えて保護者の負担軽減に対しても、非常に評価されている。コミュニティ・スクールも始まったばかりなので、活動自体も見えにくいところがあるが、年が経っていけば、いずれ満足度数値はどんどん上がると理解した。
- ・ 教職員のアンケート結果は、概ね評価されているが、小中の連携をつなげる柱としての吉田探究の評価は、満足度数値をもう少し上げたい。
- ・ 中学校について、子供たちの学力把握と学力向上のために有効だという判断の下に（吉田町学調を休止し）中間テストを実施することになったが、中学校の中でそうした経緯が共有化されていない。
- ・ ICTもそうなのだが、吉田町は他市町に比べて子供たちにとっての環境整備が良く、そのすばらしさをもう少しアピールしてほしい。
- ・ 平準化による時間の生み出しに関しても、意識してタスクマネジメントができていいる先生は、しっかり時間を生み出せているので、活用できていない先生にこそ情報を共有してもらいたい。
- ・ 放課後の子供の居場所に関して吉田町は、子供を1人で家に置いておけないという家庭からすれば、すごくありがたいこと。子供たちが学校から帰ったら友達と遊ばない、顔も見ないというようなことではなくて、放課後児童クラブでの活動などで触れ合える機会があることは、すごく良い。吉田町は教員補助や校務アシスタントなど人材確保を手厚くしているの、それを継続してもらいたい。
- ・ トリビンスプランに対する総合的な評価は高い。気になったのは、1人1台端末のところ、持ち帰りが大変になると書いている人が多く、それは持ち帰っても、ただ持ち帰るだけの子供もいる。家庭学習について、積極的にオンラインでタブレットを使った宿題を出すなど家でも使うことをもう少し増やした方が良い。
- ・ コミュニティ・スクールについては、まだ始まったばかりで、これぐらいの評価と思われるが、保護者はコミュニティの1人であり、コミュニティ・スクールの当事者でもあるわけで、何かを誰かがしてくれるというような認識の人が多いよ

うな気がしていて、コミュニティ・スクールというのは、町全体で、保護者ももっと学校の教育に入ってきてほしいということで、コミュニティ・スクールとはどういうものかということ、保護者にも伝え、関心を持っていただき、保護者にも積極的に関与してもらって、それを見た子供が社会性を高めることにつながっていくのではないかと。

- ・コミュニティ・スクールは、よく分かっていない保護者が多いのでメールや学校便りなどで情報発信をしてほしい。分かってくれば協力してくれる人もだんだん増えてくると思う。
- ・教員補助などの人的支援については、継続されたい。公設学習塾は、今後どうしていくのか、町の取組としてクローズアップできればと思うし、もっと大勢の人が参加できるとうい。
- ・吉田探究は、小学校は上手く活用できているが、中学校は上手く活用されていないと思われ、小中つながった活動ができていない。吉田探究コンクールでもないが、小中学生それぞれフラットで、チームを組んでそれぞれに、何か一つ発表をするイベントができれば素晴らしい。
- ・吉田探究やジュニア防災士の勉強など、学校では非常にいいことをやっていて、それを地域の人に知ってもらいたいと思う。それがコミュニティ・スクールにもつながっていくと思う。
- ・小学生が Google スライドを上手に使っているのを町民が見たらびっくりすると思う。これは町民に知ってもらいたい。さらに、たくさんの文章の打ち込みをしているからか、文章力も上がっている。中身のレベルがすごく高くて深い。プレゼンも暗記をしているわけではなくて、端末を見ながらやっている子もいるが、さらに、自分の声で相手の顔を見て発表ができている子供もいる。自分のものにして発表ができて、そこと ICT がどう関係しているのは分からないが、中身がすごくレベルが高くなっている。
- ・電子黒板は使いこなしているか。 ⇒ 中学校は入ったばかりだが、小学校並に使えている。
- ・教職員の時間外労働時間についてはどうか。 ⇒ 経年では時間外が年々減っていく傾向にあったが、今年は中学校の部活動が休止されずに実施されていることから少し時間外が増えている。

## ウ 部活動の地域移行について 資料No.5

(委員からの意見)

- ・保護者が子供たちの技能技術向上よりも、子供が楽しくやっていたら良いと思っているというのは、時代が変わったと思う。
- ・地域移行することに保護者も教職員もそれほど抵抗を感じる状況ではないようなアンケート結果ではないかと感じた。
- ・保護者は、思った以上に、部活動はなくなるのだねというのを知っていた。
- ・アンケート全般としては、地域移行を受け入れている感じがする。段階的に変わっていくのは、賛成という形。
- ・ここ数年、吉田中学の部活動が週の平日に2日なくなって、土日もどちらか1日というルールに部活動に対して変わってきた流れがあるので、受け入れるという認識ではないか。
- ・指導者の質が求められてくるが、そこはすごく難しい。やる人が少ない中で、保護者のニーズに沿った指導をしてくれる指導者を探し、報酬をどうするかということ、すごく難しい問題である。

## 5 その他

- ・教育委員報告
- ・裁判について
- ・今後の教育委員会等の予定について

## 6 閉 会